

ヤシ科 シュロ属

シュロ (棕櫚)

Trachycarpus fortunei (Hook.) H.Wendl.

総合対策
(その他)

自生環境

山林、神社 など

原産地

日本 (九州以南) ~ 中国

予想される被害

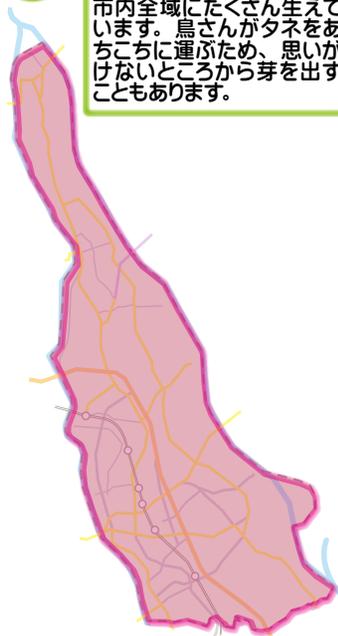
駆逐



野田市内で見られるものは、本来の自生ではなく、人が植えたものが野生化して広がったものです。他の在来樹木との間で、場所をめぐる競争が起こる可能性があります。

市内の分布状況

市内全域にたくさん生えています。鳥さんがタネをあちこちに運ぶため、思いがけないところから芽を出すこともあります。



特徴

- ★ 熱帯の樹木でおなじみのヤシの仲間ですが、比較的寒さに強い部類に入ります。国内では九州より南の地域に自生します。それとは別に、寒冷地以外の広域で野生株が見られますが、これらは栽培からの逃げ出しと考えられます。
- ★ 葉はうちわのようなかたちで大きいものでは直径 50cm 以上になります。まるでうちわの骨のように細くきれこみ、葉先は折れて垂れる傾向があります。縁に鋭い刺があるため、工作に使うときは手を切らないように注意をください。
- ★ 雄株と雌株があります。どちらも初夏になると、幹の先端部から薄い黄色の花の穂が垂れます。雌株は秋になると丸い果実が青っぽい灰色に熟します。この果実は鳥さんに人気があるようで、鳥によって運ばれたタネがあちこちから芽を出しています。

生活用品や工芸品の素材に

シュロは食用にはなりません、生活用品や工芸品をつくるための素材として、活用されてきました。材木は鐘をつくための、撞木(しゅもく)と呼ばれる棒になります。幹の表面を覆う硬い繊維状のものは、葉の根もとが変化したのですが、強度があるため縄やほうきをつくるのに使われます。それから葉を切ったり編んだりすると、さまざまな工作を楽しむことができます。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

